

(別添1)

## 第12回世界林業会議 声明文

(林野庁仮訳)

2003年9月28日

カナダ・ケベック市

### 森林、いのちの源

- 森林の問題は、環境及び開発に関わる全ての問題と機会とに関連している。  
(1992年 国連環境開発会議(UNCED)より)

森林は、いのちの源であり、地球のため、人類のために不可欠なものである。

全ての人類社会は、森林や樹木に依存して生きており、生物多様性の保全、気候の安定化、正常な空気、土壌及び水の保全、食料安全保障、木材及び非木質林産物、エネルギー供給、医薬品、文化的価値の保全などに責務を有している。

本会議は、地球環境の保全と人類の生活は調和しうることを、並びに、森林が環境の保全、貧困の緩和、社会的公正、人類福祉の向上、そして現在及び将来の世代間の公平とに決定的な役割を果たし得る大きな可能性を秘めていることを確信する。

本会議は、そのような可能性の実現に向け、世界的又は地域的な協定や国レベルの政策の中で、あるいは政府、国際機関、企業、非政府組織(NGO)などの様々なパートナーシップを通じて、そしてまた現地レベルでの様々な取組、特に、森林の所有・意思決定・経営へ地域住民の参画による生活向上の取組において、理念と実践、概念と具体策のそれぞれが大きな進歩を見せたことに感銘を受けた。

また同時に、本会議は、主に森林分野以外の要因によって森林の不可逆的な減少と劣化が恐るべき速度で続いていることを深く憂慮する。現在の森林に対する脅威がこのまま続けば、全ての人類の生活が脅かされることになる。低森林被覆国の人々、先住民、地域住民は特に大きな影響を受ける。このような現在の傾向と、林産物や森林からのサービスに対する社会的要請に対して森林が応え得る潜在的能力との乖離を解消する必要がある。

森林に対する人類のニーズと地球環境保全とを調和させることにより、世界は、持続可能な開発という道筋に沿って進歩することができる。しかし、このような調和は森林関係者のみでは達成し得ない。社会における他の分野や関係者との間に架け橋を創らなければならない。

本会議は、このような長期的プロセスを継続していくことについて、一人一人が早急にかつ強く決意するよう呼びかける。

**われわれは、次のような将来を思い描く：**

社会的公正 - 貧困が緩和され、生活が維持され、食料と薪炭材が確保され、土地の所有・利用権が認知され、資源へのアクセスが保証される。林業労働者の権利と利益が向上し、男女間の公平が確立し、世代間の公平が追求され、そして、教育、訓練及び医療サービスへのアクセスが保証され、伝統的知識が尊重され、平和がおとずれる。

経済的利益 - 再生可能で環境に優しい素材である林産物と森林からのサービスの価値が完全に認識され、利益につながり、持続可能な森林経営が利益を生み、その費用負担のメカニズムが確立し、そして林産物が健全な経営を行う。

健全な森林 - 土壌の保全、生物多様性の維持、気候の安定化及び炭素の吸収を図りつつ、供給可能なあらゆる産物とサービスが供給される。森林の分断化が抑制され、森林減少が緩和され、森林の劣化が止まり、森林被覆が増大する。

責任ある利用 - 森林資源が効率的に利用・加工され、持続可能な消費が行われる。

さらに、

参加型で、透明で、責任ある統治（ガバナンス）が実現する。経営及び意思決定は分権され、人々の（政治的）地位が向上し、パートナーシップが隆盛する。

森林に関する政府間合意が実行に移される。

研究、教育及び能力開発によって、森林の恩恵や動態、生態系と人類福祉との複雑な関係、そして人間活動と森林経営が森林に与える影響について、より良い理解が促進される。

本会議の参加者は、現在の傾向と上に述べたような将来的なビジョンとの乖離を小さくするため、さらに取組を加速させることを決意する。これは、人類全体の共通の利益にかなうことである。われわれは、森林が広い地域的まとまりの中で存在し、他の分野とも密接に関連しており、他の分野と独立した飛び地のように扱うことはできないことを認識している。

本会議の参加者は、このようなビジョンを現実のものとするためには、次のような前提条件が満たされる必要があることを強調する：

- 政治的決意と適切な財政支援の継続
- 強力で責任ある森林分野（の関係者）
- 他の分野や関係者との架け橋
- 継続的かつ一層効果的な国際協力
- 最良の科学技術と情報に基づく政策
- 複雑で多面的な目的を持つ課題に対処する能力
- 先住民及び地域住民が、多大な文化、知識及び良い慣行の蓄積を有することの認知
- 集落、アグロフォレストリーシステム、非木質林産物資源及び他の天然資源との関わりの中で行われる、現地・地域規模での森林及び樹木の経営・管理

本会議の参加者は、上記のような前提条件が満たされるよう努めるとともに、以下のような戦略と行動の推進を通じて取組を加速させるよう、自ら決意するとともに世界に対して要請する：

#### 政策、制度及び統治の枠組

- 持続可能な森林経営に関連する法令を策定し施行すること。
- 所有者、先住民、利用者及び労働者の権利を認知し尊重すること。また、文化的価値を保護すること。
- 意味のある参加と利益の公平な分配を確保するため、また、地域の実情に応じて土地の所有・利用権及び資源のアクセスをもたらすような多様なモデルの確立を促進するため、効果的な統治の仕組みを確立すること。
- 他の分野の政策との調和と連携を図りつつ、森林の減少・劣化を緩和するための政策を策定し、施策を実施すること。
- 望ましい方向に働くインセンティブを奨励し、妨げとなるようなインセンティブを取り除くこと。

#### パートナーシップ

- 持続可能な森林経営の追求に当たって、青少年のエネルギーと才能を活用すること。
- 女性、森林所有者、先住民、非政府組織（NGO）、地域住民、産業界及び公的機関の参加を得た、協調的なパートナーシップを奨励すること。
- 公的機関と民間組織とのパートナーシップを含め、国際的及び地域的なパートナーシップを促進すること。

#### 研究、教育及び能力開発

- あらゆるレベルでの技術革新を推進し、森林に対する良いふるまいや態度を助長するような総合的な教育及び普及施策を実施すること。
- 分野横断的側面や地球的及び地域的な考察を取り入れるよう、教育カリキュラムを改良すること。
- 伝統的知識と科学的知見との間の連携を実現すること。
- 全ての戦略の実行につながる研究、情報の普及及び学習プロセスに対する投資を拡大すること。

#### 森林経営

- あらゆる林産物を評価・報告・管理するための方法を開発し、普及すること。
- 森林からの財とサービスに付加価値を与える取組を推進すること。
- 流域の管理を改善し、森林の広域的回復と復旧の取組を強化すること。住民の生活を支え、森林被覆を増やし、生物の多様性とその機能を増進し、外来種による悪影響を最小化すること。
- 持続可能な開発に寄与するものである、植林及び都市部など森林以外の土地への樹木の植栽を推進すること。
- 森林火災を予防し、管理し、消火するとともに、適切な場合には、森林の回復を図ること。

#### モニタリング

- 持続可能な森林経営の社会的、文化的、環境的及び経済的側面を反映するものである基準・指標及び認証について、異なるプロセスや枠組間の共通認識を促進するこ

と。

- 森林の現状及び人類のニーズと地球環境の保全のバランスの達成状況について、モニタリング・評価・報告を行うための方策を編み出すこと。

**本会議の参加者は、森林が「ミレニアム開発目標」やその他の国際的に合意された目標の達成に大きく寄与するよう、新たな熱意と決意をもって、上記のビジョン及び戦略の実現を目指す。**

本会議は、全ての国の政府、関係部局、専門機関、民間の企業や団体、地域住民及び個人が、早急にかつ強い決意をもって、本声明に掲げるビジョンと戦略の実現を目指すよう、呼びかける。本会議はまた、これらの人々に対し、目標の実現に向けて限られた資源と労力を集約的に投入するため、他の分野の関連する専門家集団や機関と連携して取組を進めるよう要請する。

本会議は、F A O に対し、本声明に掲げられた戦略の実施状況の評価を第 1 3 回世界林業会議に報告するとともに、他の枠組の下でも本声明の実施を推進するよう要請する。

本会議は、本会議を主催したカナダ天然資源省及びケベック州天然資源・野生生物・公園省並びに F A O、さらには本会議の開催を可能にした全ての人と組織に対し、心から感謝を表明する。

本会議は、カナダに対し、これらのビジョンの実現のために必要な全てのレベルでの決意を得るために、本声明を関連する機関に進達するよう要請する。

2 0 0 3 年 9 月 2 8 日

第 1 2 回世界林業会議は、2 0 0 3 年 9 月 2 1 日から 2 8 日までの間、カナダ・ケベック市において、1 4 0 を超える国から 4 , 0 6 1 人の参加者を迎えて開催された。参加者は、森林に関する様々な層の人々からなり、地域社会からの個人参加、森林所有者、労働者、先住民、青少年、産業界、環境団体その他の非政府組織、科学及び学術社会、様々なレベルの政府及び国際機関関係者が含まれた。本会議のテーマ「森林、いのちの源」と 3 つの副テーマ「人類のための森林」「地球のための森林」「人類と森林の調和」に沿って、幅広い課題が検討された。この最終声明文は、本会議としての意見を示すものであり、優先的な関心分野を明確にし、森林及び林業並びに他の分野の様々な側面に関わる人々の意思決定と行動を奨励することを意図するものである。